

赤井川村における森林整備計画策定及び 事業実行に向けた支援の実施

石狩森林管理署

目 標

村有林整備を支援、推進する中から、この地域の私有林整備の動機付け、普及につなげる

取組内容

【森林調査方法習得のための技術支援の実施】

赤井川村では村有林管理を総務課が担当しており、森林調査の経験がなく、赤井川村森林整備計画を策定するためには森林現況の把握が必要なため、この地域の国有林を管理する森林官等が指導者となって、標準地（プロット）調査実施のための技術的支援を行いました。



【施業方法の決定のための技術的支援の実施】

計画対象林分でどのような森林施業を行うべきかを検討するにあたり、この地域の森林官等が現地踏査に同行し、ドローンで撮影した写真等の資料提供も行い、その判断のポイントなどについての助言を行いました。また、効率的な施業を進めるための方策として、国有林との共同施業団地の設定についての情報提供も行いました。



【現地検討会の開催のための技術的支援の実施】

赤井川村主催での現地検討会を開催するにあたり、この地域の森林官等が事前準備のための踏査に同行し、検討会の進め方、検討内容、意見をもらうポイントなどについての助言及び資料の監修などの技術的支援を行いました。



結果

森林施業予定の林分において、標準地調査箇所の設定、立木調査、調査結果の取りまとめ等の一連の作業を森林官等がマンツーマンで指導。単なる研修ではなく、調査結果を実際に活用するものとしてより実践的な内容で支援したことから、役場職員だけでも一定程度の調査が実施できるようになりました。

実際の森林施業予定地で助言等を行ったことから、役場職員の理解がより深まり、主体的に森林施業方法を選択できるようになりました。

また、国有林との共同施業についても興味関心を持ってもらえたことから、幹部職員に説明する機会も設けてもらうことができ、前向きな返答をいただいています。

主催する役場職員が現地で参加者からの意見を求めるポイントを事前にイメージした上で検討会を開催することができました。このため各参加者からの多様な意見を引き出すことができ、森林整備計画策定の参考とできる有意義な検討会となりました。

今年度の総括 次年度の予定

令和4年度、石狩森林管理署民有林支援PTでは、村有林の森林整備計画の策定支援として、赤井川村村有林担当者へ村有林の現況把握、森林施業方法の検討のための技術的な支援を行ってきました。当初は全く林務経験がなかった担当者も、基礎的な知識を習得し、赤井川村森林整備計画樹立に向けた作業を進めています。また、国有林との共同施業団地の設定にも関心を示してくれているところです。

令和5年度は、村有林の森林整備計画に沿って進められる森林整備事業の実行支援、共同施業団地の設定に向けた協議を進めていきたいと考えています。